

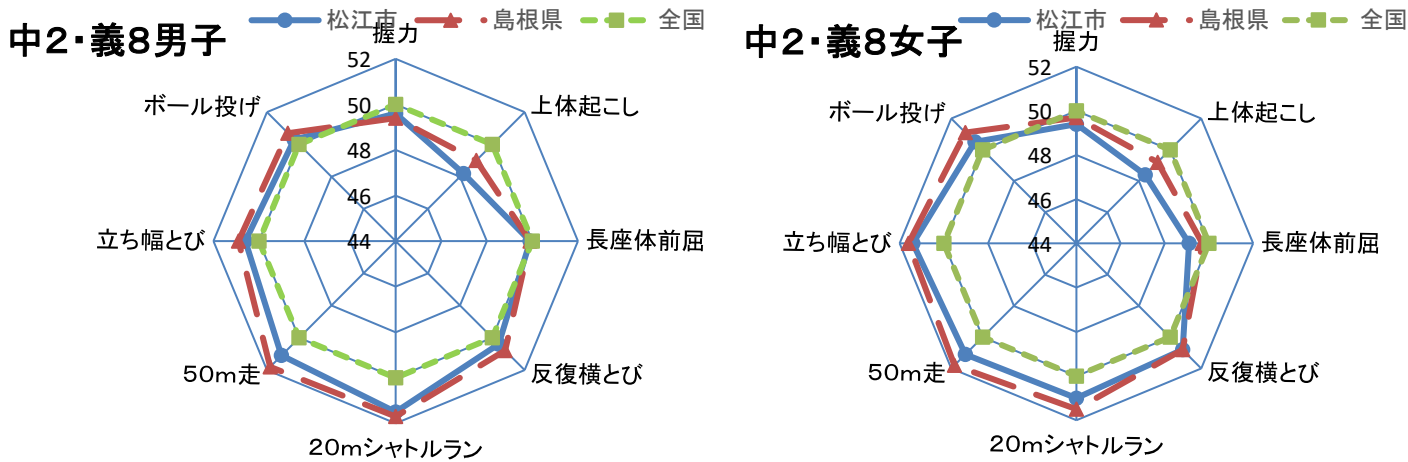
令和6年度 体力・運動能力調査結果及び分析・対策(松江市・中学校及び義務教育学校後期全体) 令和7年3月28日

(1)【前年度との比較】松江市立中学校及び義務教育学校生徒の体力の現状

	前年度の松江市と比較した概要(前年度の平均を1とした場合の今年度の達成率を表したもの)									
	学年	人数	握力 筋力	上体起こし 筋持久力	長座体前屈 柔軟性	反復横とび 敏捷性	シャトルラン 全身持久力	50m走 スピード	立ち幅とび 筋パワー	ボール投げ 巧緻性
男子	中1	703	1.000	1.041	0.986	1.003	0.949	1.002	1.008	1.010
	中2	652	0.986	0.970	1.021	1.011	1.015	1.000	0.987	0.999
	中3	680	1.018	1.009	1.006	1.018	0.964	1.008	1.007	1.023
	・「反復横跳び(敏捷性)」「50m走(スピード)」で前年度の記録を上回っている。 ・「シャトルラン(全身持久力)」については、1年生が昨年度の記録を大きく下回っている。									
女子	中1	625	0.993	0.986	0.973	0.991	0.975	0.980	1.000	0.970
	中2	655	1.002	0.975	1.004	1.025	0.996	0.999	1.006	1.024
	中3	684	1.005	0.975	0.983	0.997	0.966	0.994	0.987	0.973
	・「握力(筋力)」は上回っているか前年度と同水準。 ・「上体起こし(筋持久力)」「シャトルラン(全身持久力)」については、前年度の記録を下回っている。									

評価指数
1.030以上
1.000以上
0.990以上
0.970以上
0.950以上
0.950未満

(2)【R6全国及び鳥根県との比較】松江市立中学校2年生及び義務教育学校8年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



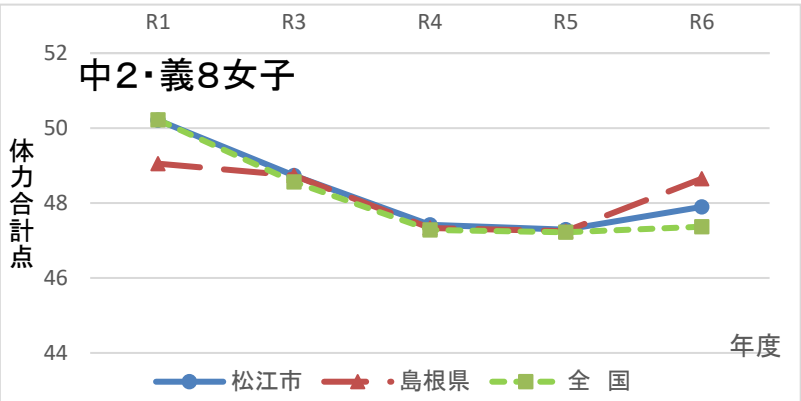
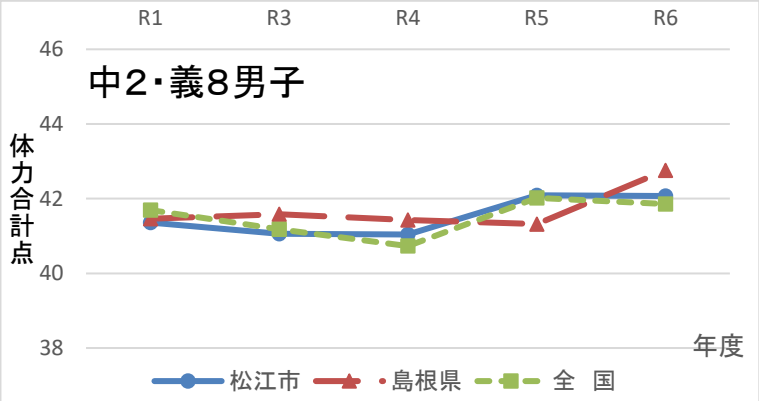
義8 中2 男子	・「立ち幅跳び(筋パワー)」「20mシャトルラン(全身持久力)」は県と同水準で全国より高い。 ・「握力(筋力)」「長座体前屈(柔軟性)」は全国を下回っている。「上体起こし(筋持久力)」は全国を大きく下回っている。
義8 中2 女子	・「50m走(スピード)」「立ち幅跳び(筋パワー)」は県と同水準で全国を上回っている。 ・「握力(筋力)」「長座体前屈(柔軟性)」は県、全国を下回っている。「上体起こし(筋持久力)」は全国を大きく下回っている。

(3)松江市立中学校2年生及び義務教育学校8年生 全国体力・運動能力調査 体力合計点の推移(過去5年間まで)

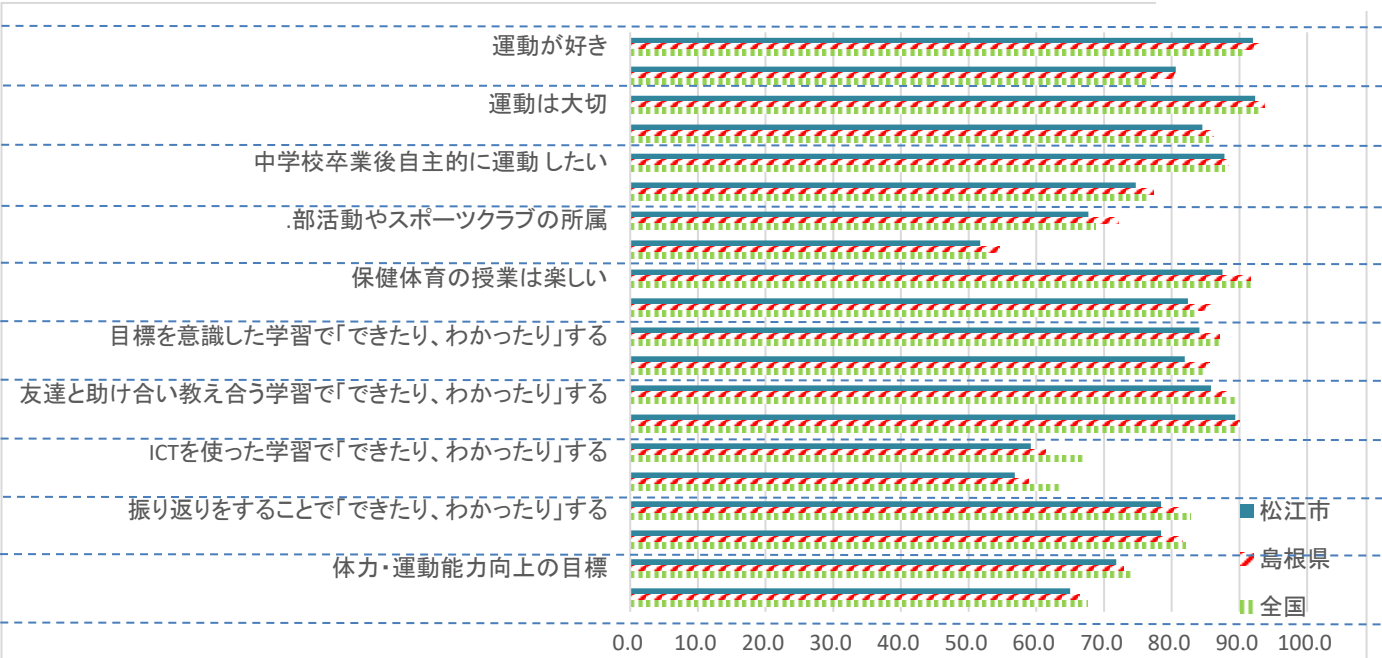
中2・義8男子	R1	R3	R4	R5	R6
松江市	41.36	41.06	41.04	42.09	42.07
鳥根県	41.46	41.58	41.43	41.32	42.76
全 国	41.69	41.18	40.73	42.02	41.86
中2・義8女子	R1	R3	R4	R5	R6
松江市	50.21	48.73	47.42	47.29	47.9
鳥根県	49.05	48.73	47.33	47.25	48.65
全 国	50.22	48.56	47.28	47.22	47.37

※体力合計点とは、男女別
種目別得点表により9種目
合計得点を表したもので
す。

※令和2年度は中止



(4)松江市立中学校2年生及び義務教育学校8年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 意識調査の結果 項目 上段:男子
(松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(5)松江市立中学校及び義務教育学校生徒の意識・実態調査から見られた傾向

全国や県平均と比較した概要		
男子	義8 中2	・「運動が好き」「運動は大切」について、肯定的回答の割合が昨年度よりも増加している。 ・授業の中でわかったりできたりする項目について、肯定的な回答が全国と比べて低く、ICT活用については特に低い。
	他学年	・「ほとんど運動をしない」の割合が全学年とも前回より減少している。 ・「朝食を毎日とる」の割合が1年生は90%を超えているが、2・3年生は90%を切っている。 ・全学年で「睡眠時間が6時間未満」の割合が前回より3～5%程度増加している。
女子	義8 中2	・「運動が好き」について肯定的回答の割合が昨年度よりも増加し、県や全国と比べて高い。 ・「自主的に運動する」について、肯定的回答の割合が昨年度よりも減少し、県や全国と比べて低い。 ・授業の中でわかったりできたりする項目について、肯定的な回答が全国と比べて低く、ICT活用については特に低い。
	他学年	・「ほとんど運動をしない」の割合が2年生では減少しているが、1・3年生とも増加している。 ・「朝食を毎日とる」の割合が全学年で減少している。 ・全学年で「睡眠時間が6時間未満」の割合が前回より4～8%程度増加している。特に3年生は10%を超えている。

(6)主な課題及び今後の取組の視点

主な課題
・「上体起こし(筋持久力)」の項目が前年度との比較及び、県、全国と比べて低い。 ・意識面では、「自主的に運動」「授業が楽しい」が昨年度と比べて高くなっているが、以前として県や全国よりも低い。特に全国的な傾向として女子の運動意識の低下が見られる。 ・授業の中で、「できたり、わかったりする」項目が全体的に県や全国よりも低い。 ・授業でのタブレット等ICT機器の活用頻度が全国や県に比べて低い。(週に1時間以上活用してる学校の割合 市:37.6%、県:46.9%、全国:56.8%)
今後の取組の視点
1. 具体目標の設定 ○学校教育活動としての全体での体力づくり推進 ・年度始め:入力シートを活用した課題の把握及び体力向上推進計画による各校の実態に応じた達成(数値)目標を設定 ・年度途中:2・3学期の具体的な改善策 ・年度終り:公表シートによる達成度の把握及び体力向上推進計画による次年度の計画(4月からの取組) ○生徒自身が体力の現状を把握 ・個票の活用による体力調査結果の把握(生徒自身が目標をもって取り組む) 2. 授業 ○体を動かす時間の十分な確保 ・一部の生徒だけでなく、一人一人が運動量を確保できるよう工夫 ・各校の重点的に行う内容や継続的に行う活動を整理 ○技能差によらない多様な楽しさや充実感を得られる授業の工夫 ・ねらいを明確にした授業の充実 ・一人一人が自分の目標をもって取り組むことができる個別最適な学び ・協働的な学びによる学びの深化 ○運動領域の特性に合わせたICTの活用 3. 「つながり」を生かした取組 ○委員会活動や学校行事、学級活動、部活動との「つながり」 人と人とのつながりをいかした取組の工夫 ○地域やプロスポーツ選手等との「つながり」 「夢の教室」等、スポーツ選手学校訪問事業推進 ○松江市中学校体育連盟や松江市教育研究会体育部の「つながり」 4. 体力向上推進計画に基づく指導主事による学校訪問 ○各校の目指す子どもの姿及び研究の方向性をもとにした指導助言